



平成20年度文化芸術振興費補助金(芸術創造活動重点支援事業)

モーツァルト室内管弦楽団 第126回定期演奏会

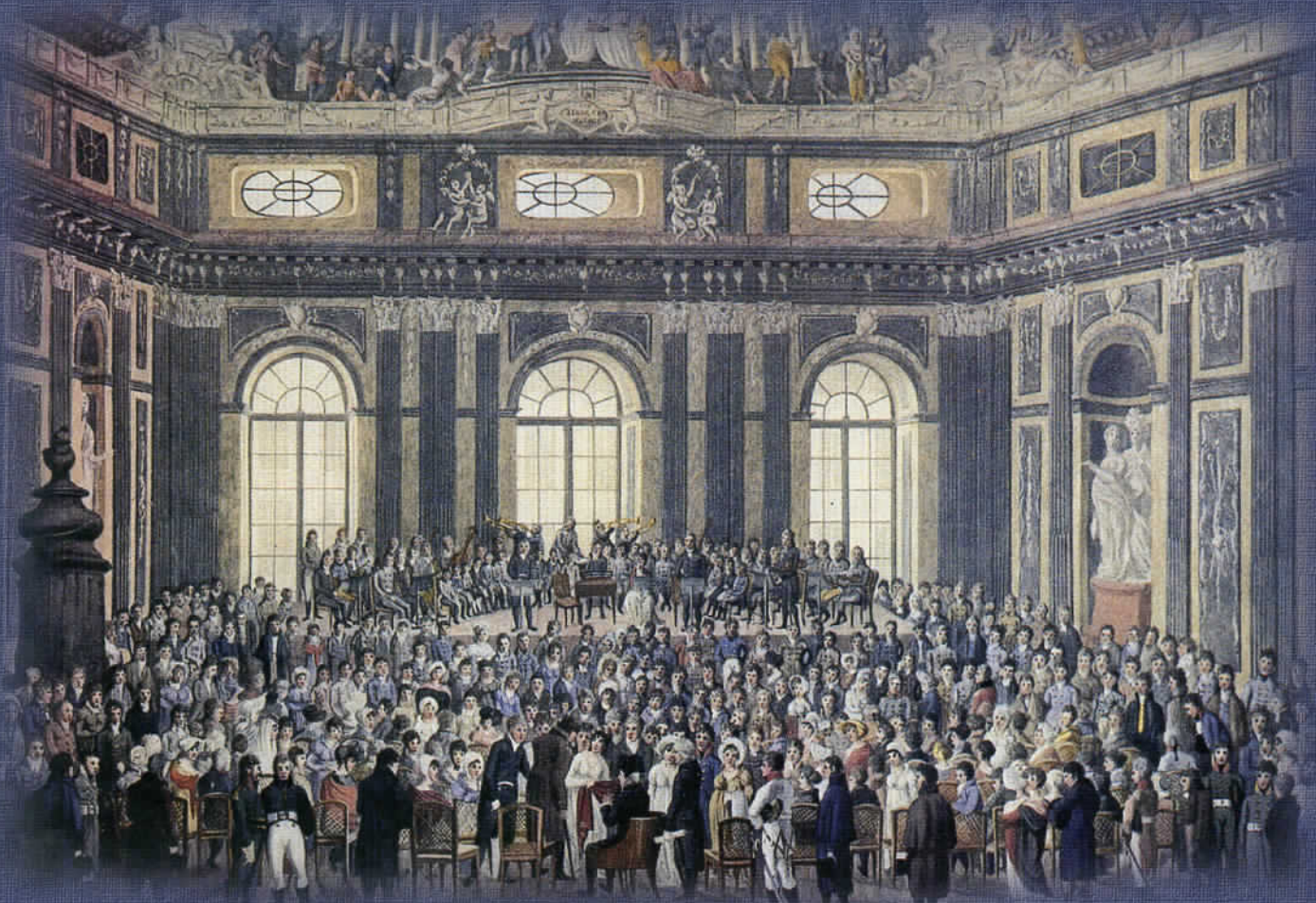
〈2009年 没後200年記念 ハイドン・シリーズ〉第7回

ハイドン/ Joseph Haydn

《天地創造》

„Die Schöpfung / The Creation“

(全曲/日本語字幕付)



1808年3月27日、ハイドン臨席のもとに行われた「天地創造」演奏会。
手前中央で椅子に座っているのがハイドン、その左に立つのはベートーヴェン、そして壇上で指揮をとるのはサリエリ。

2008 **11/8** 2:00pm開演
(土) (1:30pm開場)

いずみホール

JR環状線「大阪城公園」駅から徒歩3分、「京橋」駅から徒歩7分、
地下鉄長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク」駅から徒歩5分。
有料駐車場完備

入場料：一般 **¥5,000** (指定席) / 学生 **¥2,500** (当日限定数発売)

*小学生よりご入場いただけます。*前売一般券完売の場合、学生券の販売はありません。

天使ガブリエル、イヴ：木村能里子(ソプラノ)

天使ウリエル：西垣 俊朗(テノール)

天使ラファエル、アダム：松下 雅人(バス)

モーツァルト記念合唱団(合唱指揮:益子 務)

指揮：門 良一

コンサートミストレス：林 泉

主催◆モーツァルト室内管弦楽団 協賛◆いずみホール【財団法人 住友生命社会福祉事業団】

マネジメント◆大阪アーティスト協会 <http://www.oaa1985.com> TEL.06-6135-0503 FAX.06-6135-0504 〒530-0041 大阪市北区天神橋2-5-25-909

*本公演は日本ユニセフ協会に賛同し、当日会場では募金活動なども行います。

前売◆大阪アーティスト協会 050-5510-9645 いずみホール 06-6944-1188 電子チケット 0570-02-9999(PCコード:302-022) ローソンチケット 0570-084-005(Lコード:57753)



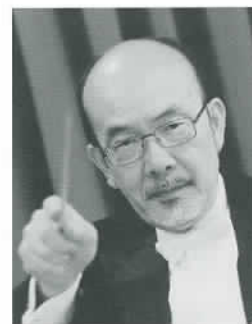
オラトリオ不朽の名作《天地創造》

ハイドンは60歳を目前にしてロンドンへの演奏旅行を敢行し大成功を収める。彼はその地で聴いたヘンデルの《メサイア》をはじめとするオラトリオに感動し、自分もあのようなオラトリオを書きたいと思い、しかるべき台本を捜し求めた。その結果、ミルトンの《失楽園》に基づく《天地創造》を入手して持ち帰り、これをウィーンの芸術支援者として有名なヴァン・シュヴィーデン男爵がハイドンのためにドイツ語に翻訳したのである。1798年に完成した《天地創造》は初演されるや否や大評判となり、直ちにヨーロッパ各地で演奏されるようになった。曲は3部からなり、第1部・第2部は神による6日間の天地創造の物語、第3部はエデンの園におけるアダムとイヴを扱っている。

モーツァルト室内管弦楽団／指揮・門 良一

Mozart-kammerorchester / Ryoichi Kado, Dirigent

1970年に指揮者 門 良一によって設立され、38年間一貫して30数名のメンバー構成を維持するわが国では数少ない本格的室内オーケストラである。レパートリーはモーツァルト、ハイドンを中心とした古典派からバロック、前期ロマン派に及び、最近ではフランス近代の作品にも手を伸ばしている。モーツァルトに関しては交響曲と協奏曲の全曲を演奏した日本唯一のオーケストラであり、創立当初から新モーツァルト全集に準拠した楽譜を使用していることは注目に値する。'91年のモーツァルト没後200年に際しては2年にわたり記念シリーズを催し、なかでもモーツァルトの予約演奏会プログラムを完全に再現した日本初の企画は大いに話題を呼んだ。演奏スタイルは中規模編成の特色をフルに生かしたもので、的確なテンポ、明快なリズム、清澄なサウンドは定評のあるところである。関西一円で演奏活動を展開するなかで'90年からは大阪いずみホールを本拠として定期演奏会を、また隔年毎に東京定期演奏会を行い既に16回を数えている。海外では'88年にはドイツ民主共和国文化省の招聘による旧東独国内への演奏旅行を成功させている。内外の著名アーティストと数多く協演しており、なかでもマリア・ジョアオ・ピリス('85、'87年)、シブリアン・カツァリス('93、'94年)、ペーター・ダム('83、'86、'88、'98、'00年)、ウィーンフィル木管アンサンブル('86年)、ライナー・キュッヒル('90年)らとの名協演はいまも語り草となっている。'91年に姉妹団体、モーツァルト記念合唱団を誕生させ宗教曲などで活発に協演するほか、'93年には堺シティオペラとの協力による《モーツァルト・オペラシリーズ》を開始し、いずれも好評をもって迎えられている。'06年1月にはモーツァルト生誕250年記念特別企画としてオペラ《イドメネオ》の世界初オリジナル・ノーカット版演奏会形式上演を挙行し絶賛を浴びた。「素晴らしい成果」(毎日新聞)、「この楽団は注目」(朝日新聞)。



天使ガブリエル、イヴ
木村 能里子(ソプラノ)



天使ウリエル
西垣 俊朗(テノール)



天使ラファエル、アダム
松下 雅人(バス)

モーツァルト記念合唱団／合唱指揮・益子 務

Mozart-Choral Ensemble (Chor-Dirigent / Tsutomu Masuko)

「本番のステージで柔軟に音楽をすることのできるプロフェッショナルなコーラスがほしい」という、モーツァルト室内管弦楽団の要望を受け、特別に編成された合唱団。女声は堺シティオペラの選抜メンバー(若手プロ)を中心に、男声は合唱王国関西の著名合唱団の指揮者、パトリック・クラスに参加を要請、1991年7月末に発足し、益子 務氏の指揮のもとに練習を開始した。同年12月モーツァルト室内管弦楽団のモーツァルト没後200年記念第48回定期演奏会で「レクイエム」を協演、それ以後、ミサ、オラトリオ、オペラなどで毎年協演し、中でもモーツァルト「ハ短調大ミサ」、「救われたベトゥーリア」、「イドメネオ」、ハイドン「天地創造」、「四季」、ヘンデル「メサイア」、ベルリオーズ「キリストの幼時」などは絶賛を浴びた。93年には初の単独自主公演としてジャンヌ・ワグナー氏を客演指揮者に迎え(ロジェ・ワグナー・メモリアルコンサート)を開催、大好評を得た。98年、00年の2回、ベルギー・フランドル政府の招きにより文化交流使節としてベルギー演奏旅行を行い、大成功を収めた。00年、創立10周年記念としてCD「ロッシェニ：小荘厳ミサ」をリリース。

